

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 951 号	氏名	近藤 崇伸
学位審査委員		主 査	根本 孝幸
		副 査	林 善彦
		副 査	伊藤 公成
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、これまで包括的に検討されたことのなかった矯正的な歯の移動様式と歯槽骨吸収との間の関係を調べたものであり、その研究目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットを無作為に歯体移動群と傾斜移動群の2群に分け、さらに牽引力の違いで4群に分け、計8群に分けた。そして、歯の移動量と歯槽骨吸収量を測定するため <i>in vivo</i> でマイクロ CT を撮像計測し、統計学的手法で相関関係を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ラットにおいて歯の抵抗中心の移動速度は移動様式に影響を受けず、傾斜移動は歯槽骨を減少させることを明らかにしている。このことは、矯正歯科臨床における指針のエビデンスの一つとなる可能性があり、今後の歯科矯正学研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は歯科矯正学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			